

## Semester留学便り 12月

12月に入って増々気温が下がり、最高気温が氷点下という日も多くなりました。大学内にある湖や川もすっかり凍り付いています。そんな中、皆は残りわずかな留学生生活を精一杯楽しんで過ごしていました。

### ○HSK

留学最後の HSK 試験です。10・11月のものとは異なり、全員が参加しました。実質、この留学でどのくらいの力がついたのか確認するためのものです。補講や自主学習の時間を利用して、全員が怠ることなく準備をしてきました。

### ○北京旅行

10月の国慶節に行く予定だった旅行の代わりとして、11月の長城見学に引き続き、北京へ日帰りで行って来ました。今回は故宮の見学がメインです。吹き付ける寒風の中でも、ある人は友達との記念撮影を楽しみ、またある人は故宮の歴史を学んだりして、それぞれが北京での思い出を作っていました。



(図) 天安門広場

### ○最終試験

今年度の最終試験は、自分の好きなテーマについて、中国語を使ってプレゼンテーションを行うということでした。各自、準備に四苦八苦しながらも、当日は他の人の発表に興味を持ったり、センスあふれる発表に先生ともども笑ったり、楽しい試験となりました。

### ○終了式&発表会

この日は、最初に修了式があり、そのあと発表会がありました。修了式では生徒一人一人に修了証書が手渡され、その上、皆勤・好成績などの生徒には、特別に表彰・奨学金の授与が行われました。



(図) 修了証書授与

発表会では、クラスごと、及び文化講座（武術・二胡・京劇・相声）ごとに発表を行いました。





発表会の後、先生方やお世話になった人たちと一緒に食事会を開き、そこで、感謝の気持ちとともに色紙を送りました。



(図) 小班の先生方

#### ○帰国

セメスター留学では、気象による交通トラブルを防ぐために、帰国の前日は北京に一泊することになっています。私たちは涙ぐむ先生たちに見送られながら、四か月を過ごした南開大学に別れを告げました。

北京では、それぞれ観光を楽しんだり、クリスマスイヴの前日ということもあって、パーティーを開く生徒もいたり、思い思いに最後の中国を満喫しました。

#### ○留学が終わり・・・

この4か月、特に最後の1か月は、毎日が忙しく、充実していて、あっという間に終わってしまいました。最初の頃、日本を恋しがっていた学生も、12月には「まだ帰りたくない」と中国生活との別れを惜しむようになりました。それほど、留学は実り多く、また忘れ難い思い出をいくつも作ってくれたのだと思います。帰国してからも、中国での経験は必ず私たちを支え、成長させてくれるでしょう。

高橋 実弥（中国文学科二年）